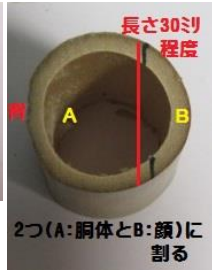
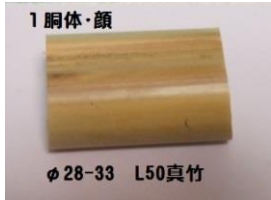


干支工作「寅」の作り方

- 1：部品一覧 1/体・真竹 φ28-33 L50 2/尾・竹輪切り  
 3/牙・メロン種か爪楊枝 4/眼・けんぼナシ 5/鼻・りんご種  
 6/鼻か口？・ナキンハゼ実 7/ひげ・黒シダか五葉ツ葉  
 8/飾り・江戸打ひも 20cm (立て札・開運干支寅)・フェルト

- 2：1/胴体・顔 3：胴体と顔に割る



A3/4 B1/4 程度  
 背中部はへこんだ方にする  
 Aは胴体  
 Bは顔

4：割る→がなどを削る（整形）



A：胴体部

ローソクを使う

1:トラ柄を着ける ①アルミホイルに型紙をあて、カッターナイフを浅い角度にあて、【詳しくは3枚目最後に】  
 トラ柄を切り抜く→ホイルを胴体にきっちり巻く→ローソクの炎に当て、  
 煤をつける

尾も、ホイル（幅7-9mmに切ったもの）を巻き付け、トラ柄をつける

2:胴体部に足・腹部になるように、切り取る部分の型紙をあて、右写真のように鉛筆で描く



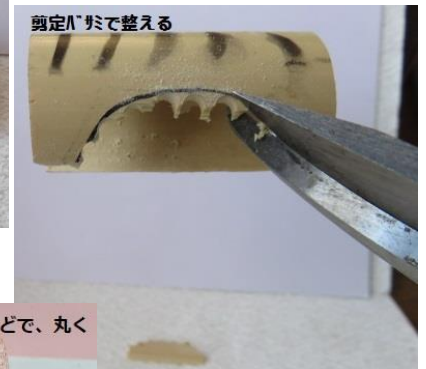
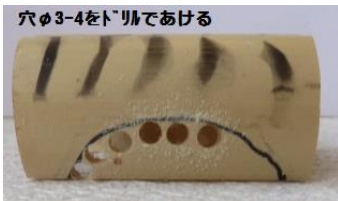
3:以下の写真順で作業する

②

③切り取り作業済み

④剪定バサミで形をあらかた整える

①ドリル φ3-4



※ノコギリ使用の場合



⑤丸いサンドペーパーか金ヤスリで

⑥仕上げ完了⇒

削り、仕上げる

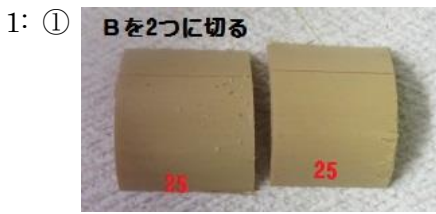


半田ごて・電熱ペンを使う ⇒

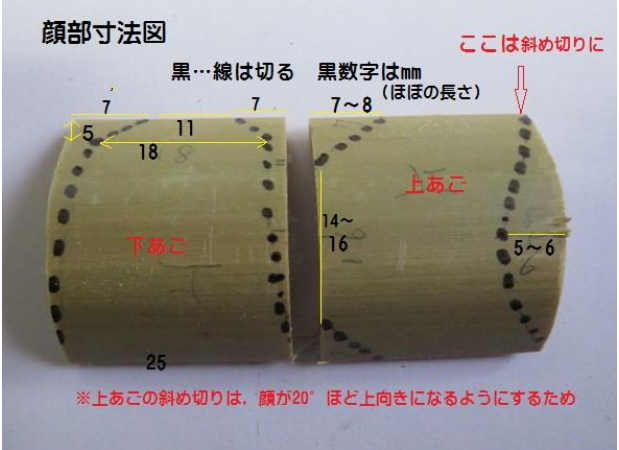
マジックで描く

B: 顔部 (上あご・下あご)

②...部をノコギリで切る (角は剪定ばでも可)



※上あごの斜め切りは、顔が 20° ほど上向きになるようにするため



③切り取り後、紙やすりで形を整える



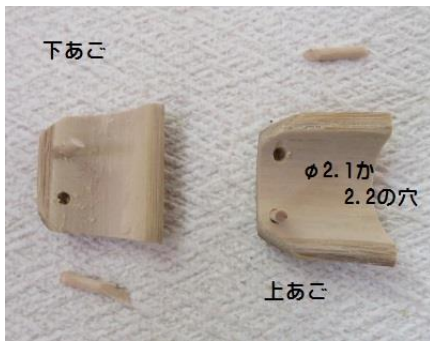
(角は剪定ばでも可だが...)  
右の鋏の入れ方は割れることあり



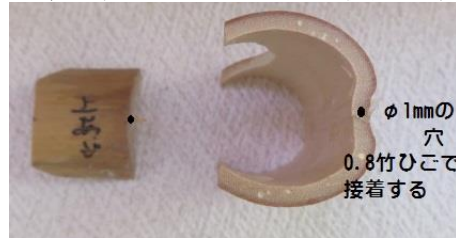
④牙/メロン種の牙(穴あけ不要・楽) (つま楊枝)



⑤ 2.2 等をつける、(眼・鼻・トラ柄をつける)



⑦胴体と上あごの接着（細竹ひごΦ0.8）で繋ぐと強い接着が可）・下あごはグルーガン使用が楽



⑧立てて、乾くまで待つ



⑨尾も⑥と同じように、胴体後にφ1穴をあけ、接着する

### 顔；眼等をつける

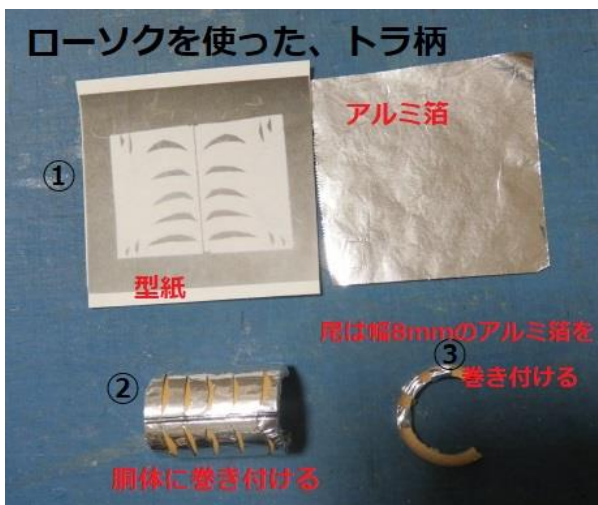
- 眼／ケンポナシ実2（⑥で済み）
- 鼻／林檎かすいか種1・ナンキンハゼ実2（⑥で済み）
- ひげ／五葉松・黒シダなど 耳／カボチャ種2
- 首飾り／紅白江戸ひも 20cm
- 尾リボン／フェルト・毛糸など
- トラ柄／半田ごてで焼く or 押し葉で（⑥で済み）



### 台座：かまぼこ板

フェルトを貼り、寅をのせて  
干支の札「開運干支寅」を立

## 〈ローソクによるトラ柄の付け方〉室内では作業不可



玄関を出たところで行います。

- ①型紙とアルミ箔＝用意しています  
・アルミ箔の上に型紙をのせ、新しい刃のカッターナイフで浅い角度で切り抜く
- ②胴体にすき間がないようにアルミ箔を巻き付ける。それをラジオペンチなどで挟み、ローソクの炎（火の中ほど）にあて、煤をつける。
- ③尾は、幅8mmほどのアルミ箔をしっかり巻き付け、ローソクの炎にあてる。

準備：ローソク立て台・ローソク・ライター・

ペンチ類・アルミ箔・型紙